

適用済・決定会社268社の対応を調査

IFRS任意適用企業 の開示分析

この1年で新たに15社が適用

第1章

新規任意適用企業の一覧と
初度適用時の開示パターン

第2章

リース、収益認識、金融商品、公正価値測定
注記情報の開示分析

第3章

リース・企業結合等は100%選択
初度適用時の免除規定の
選択状況

第4章

当期利益・総資産は増加傾向に
調整表に関する開示状況

有限責任監査法人トーマツ 松澤 伸
公認会計士

有限責任監査法人トーマツ 柏村 俊夫
公認会計士

有限責任監査法人トーマツ 杉崎 聡
公認会計士

有限責任監査法人トーマツ 葛西 哲也
公認会計士

有限責任監査法人トーマツ 竹内 夏央
有限責任監査法人トーマツ 萩野 ななみ
米国公認会計士・公認内部監査人

2023年6月末現在、IFRSの適用済・適用決定会社は、昨年と同時期に比べて10社増加し、268社となった。本特集では、このうち有価証券報告書または「上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)」を提出した企業を中心に開示内容を分析し、解説する。

IFRS任意適用企業の数引き続き増加しており、時価総額で見れば半分弱を占めるなど、影響力を拡大し続けている。今後の適用に向けた検討や実務の一環としてご活用いただければ幸いである。